

2024年第3回IEEE東京支部理事会 議事録(案)

日 時：2024年9月13日(金) 16:20～18:20

場 所：LINE ヤフー会議室

出席者：相澤 Chair、佐田 Vice Chair、奥村 Secretary、樋口 Treasurer

<以下 順不同>

添谷 COC Chair、森田 FNC Chair、賀屋 MD Chair、中村 NC Chair、植村 SAC Chair、金 PC Secretary、河東 HC Chair、久本理事会指名理事、林 LMAG Vice Chair、石垣 YP Chair、Kawamoto WIE Chair、中野 Past Chair、重松 Past Secretary、前原 Past Treasurer、西宮 SIGHT Chair、滝本 HTC2025 招致担当 20名

事務局：加藤事務局員

幹事会社：木村

次期幹事会社：千野

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料1)
2. Japan Council 理事会(2024年第2回)報告 (資料2)
3. 2024年中間会計報告 (資料3)
4. 委員会活動報告
 - ・ Chapter Operations Committee (資料4-1)
 - ・ Fellow Nominations Committee (資料4-2)
 - ・ Membership Development Committee (資料4-3)
 - ・ Technical Program Committee (資料4-4)
 - ・ Publications Committee (資料4-5)
 - ・ Student Activities Committee (資料4-6)
 - ・ History Committee (資料4-7)
 - ・ Nominations Committee (資料無し)
5. Affinity Group 活動報告
 - ・ Life Members Affinity Group (資料5-1)
 - ・ Young Professionals Affinity Group (資料5-2)
 - ・ Women in Engineering (資料5-3)
6. その他
 - 2025-2026年IEEE東京支部理事・委員等の選定について (資料6-1)
 - SIGHT 報告 (資料6-2)
 - IEW 報告 (資料6-3)
 - HTC2025 報告 (資料6-4)
 - VICS2025 報告 (資料6-5)

【議事】

0. IEEE 東京支部相澤 Chair より開会の挨拶

相澤 Chair より開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認

【審議→承認】 (資料 1)

奥村 Secretary より前回理事会の議事録について説明があり、審議・承認された。

2. Japan Council 理事会(2024 年第 2 回)報告

(資料 2)

奥村 Secretary より、Japan Council 理事会(2024 年第 2 回)につき、議事録に沿って報告があった。

3. 2024 年中間会計報告

(資料 3)

樋口 Treasurer より以下の通り中間会計報告があった。

Rebate 関連の予算につき、前回の理事会では本部から連絡があったと報告したが、実際に着金した。円安のため予算より高い額になっている。Section Assessment、JC からの還元や受取の部分は、為替が主な原因となるが予算より高くなる見込み。次回の理事会の懇親会用の金額が積まれている。各 OU、SB、LMAG、YP、WIE の活動支援費は、進捗 100%ではないが、最近行われた R10 SYWL Congress を含め、計画に沿った活動費が計上され、それが支出に反映されていく。収入がある程度増えるため、計画通りの活動をしていってほしい。

5. 委員会活動報告

・ Chapter Operations Committee

(資料 5)

添谷 COC Chair より以下の通り報告があった。

国際会議 Sponsorship(MOU)に関する承認答申について、1 件目の TCS、2 件目の FCS はほぼ同時期に答申を行った。3 件目は現在審議中の FCS が 1 件あり、答申できる見込み。1 件目の TCS だが、答申の後に東京支部で承認されたと報告があったが、その後 IEEE 本部との間でステータスの齟齬があり、相澤 Chair、奥村 Secretary に尽力頂き解決した。Chapter 支援費審査について、月 1 回の役員会で審査を行っているが、3 回行い、12 件を承認した。差し戻しの 6 件は順調に進んでいる。

・ Fellow Nominations Committee

森田 FNC Chair より以下の通り報告があった。

Fellow 増強のために、関連学会に声がけをする活動を今年も行う予定。昨年に応用物理学会、情報処理学会に協力を依頼し、案内の配信協力を得た。今年は更に対象先を増やすため、JC が NSA を締結している学会の状況を確認した。情報処理学会には昨年より依頼済み。他に候補としては電気学会、日本磁気学、計測自動制御学会がある。このうち、日本磁気学会、

計測自動制御学会にはフェロー制度が無いとため、フェロー制度のある電気学会への働きかけを行う。一方、東京支部のシニア会員への直接の働きかけもしていく。参考情報だが、JCのウェビナーである「IEEE フェローを目指す方のためのウェビナー」が今年度も2回開催される予定で、第1回は11月8日午前で調整中。

質疑応答では、奥村 Secretary が電気学会におけるフェロー申請に関連する方を森田 FNC Chair に紹介するとの発言があった。また、映像情報メディア学会にも連絡をしてみたいとのコメントがあり、森田 FNC Chair から検討するとの回答があった。

・ Membership Development Committee

賀屋 MDC Chair より以下の通り報告があった。

シニアは第2回理事会以降+2名で26名。シニアに昇格された方々のアンケートでは非常に満足とほぼ満足の合計で100%。JC MDC とともに相談し、頂いた意見の対応について検討していきたい。ピンバッジについてのアンケートでは非常に満足とほぼ満足で92%。身に付ける記念品として使う頻度の高いネクタイピン、指輪、キーホルダーなどであると使いやすいとの意見があり、似たような意見が他に6件あった。ピンバッジは2031年までの10年計画で購入しているが、意見は次年度に引き継ぎたい。他には見学会や講演会、勉強会などに関するポジティブな意見があった。なお、若者の学会離れが顕著のため、つなぎとめて欲しいとの意見もあった。会員推移を見ると2020年に少し減っているが、それ以降は増えており、今年も右肩上がりになると予想している。

・ Technical Program Committee

松尾 TPC Chair の代理で奥村 Secretary から以下の通り報告があった。

基本的には資料最初のポイントに記載されている。ハイブリッドとオンライン、どちらも取り入れた開催方法を試行した。HP の講演概要への工夫、事前の他学会での告知等で聴講者を一定数確保できているので、引き続き早めで分かりやすい告知など心掛けたい。主催4件、共催4件の8件。9月24日に講演会を予定しており、ぜひ参加、周囲にPRしてほしい。11月開催分を現在日程調整中。

・ Publications Committee

廣畑 PC Chair の代理で金 PC Secretary より以下の通り報告があった。

東京 Bulletin 発行活動で前回からの差分として、2025年～2026年のIEEE東京支部役員、理事候補者に関する記事、2020年にFellowを受賞された、鈴木先生による講演会報告、LMAG主催のNTT武蔵野研究開発センター見学会についての報告をしている。当初は2023年～2024年で12件の発行を予定していたが、既に12件発行しており、今後も数件発行する予定で、皆様のおかげで活発に活動ができている。今後は、SYWLの開催報告、TPC講演会、本日開催している理事会の開催報告、IEW開催報告などの記事の掲載を廣畑

PC Chair など関係各位と相談し進める。

・ Student Activities Committee

植村 SAC Chair より以下の通り報告があった。

SB 用の Discord のサーバーを立ち上げ、各イベント情報の共有、YP との共催案内が活発に行われた。大学が夏休みに入り、多くのイベントが開催された。SB から YP への elevation 問題解決にも取り組みたい。SB 支援費関連でこれから多くの報告書が届く予定。この後、YP と Career Development Workshop も予定している。現在 LMAG のグループメンタリングのセッション実施も検討中であるため、共催体制を検討中。ここで、対象参加者の幅を広げて、SYWL で連携を組みながら、包括的な運営をしていきたい。今年 21 回目の Towers を 11 月 23 日に神奈川工科大学で開催予定。先生方には学生たちへの情報提供の協力、審査員としての協力をお願いしたい。9 月 9 日に青森県むつ市でユメココ教室の開催があり、電気大 SB の 2 名が講師として参加した。

・ History Committee

河東 HC Chair より以下の通り報告があった。

面発光レーザーはアドポケットアサイン待ち。座席指定システム MARS はアドポケットが承認。石英系 PLC を用いた AWG 型波長合分波器はエキスパートレビュー中。動的単一モードレーザーは順調に進めば 11 月末に BoD で最終承認の予定。TV 方式変換器はタイトル変更し、レターを提案者に送付し最終調整中。白田宇宙空間観測所は開発者の林先生が 6 月に逝去された。本部に問い合わせをしながら Web で入力中。次に承認案件の進捗。パルスオキシメータの式典は 11 月 14 日を予定。TRON 電脳ハウスの式典は 11 月 26 日。なお、毎年 JC HC 委員会があり、今回は 10 月 11 日に東京支部が主催し、東芝研究開発センターを見学する予定。オブザーバーとして、東京支部 HC から鈴木 VC、喜々津 Secretary が出席予定。Milestone 事業に興味がある方は参加して欲しい。

6. Affinity Group 活動報告

・ Life Members Affinity Group

太田 LMAG Chair の代理で林 LMAG Vice Chair より以下の通り報告があった。

8 月 21 日に理研の三好先生に「ビッグデータ同化：ゲリラ豪雨予測から予測科学へ」というテーマで気象の予測と制御に関連した内容をオンラインで講演頂いた。200 名以上の登録があり、実際の参加者は 178 名と、非常によかった。役員選挙のプロセスで、今年 MGA から役員選挙のプロセスの変更の通達があったが、LMAG も可能な限り規定に沿って Election Committee を設立し、Nomination から Voting を管理、Call for Nominations を LMAG 会員に送り、30 日間候補者の推薦を促した。その後は、Petition を聞いていく。

質疑応答では、新しい選挙方式について情報を共有してほしいとのコメントがあり、林

LMAG Vice Chair より情報を共有する旨の回答があった。

・ Young Professionals Affinity Group

石垣 YP Chair より以下の通り報告があった。

昨年引き続き、7月末に小学生向けのプログラムイベントを開催し好評だった。小学生11名、保護者+運営メンバー含め36名が参加した。R10 YP が主催のイベントの CLAP を SYWL と併設し、参加者は103名だった。東京 YP から5名、関西 YP から1名が運営に参加。CLAP ではテクニカルなもの、キャリア形成に関する内容。選挙については、YP も MGA の規定に従って準備し、9月中旬から開始する予定。今後は、9月18日に IEEE Tokyo YP STEP Event 学生向けの企業見学会を開催予定。会場は東芝研究開発センター。また、学生・若手技術者のためのキャリアデベロップメントワークショップも開催予定である。IEEE Life Member Committee が推進する Group Mentoring Initiative の枠組みでの実施については、打診を受けて現在検討中。対象参加者の枠を広げ、YP や SAC のみならず、LMAG、WIE と共同で運営をしていきたい。

・ Women in Engineering

Kawamoto WIE Chair より以下の通り報告があった。

自分のメンバーシップステータスを確認した際に、Affinity Group のカタログ内 WIE の登録にチェックを入れてほしい。今回 International Engineering Day + IEEE WIE Day の Coffee Break を開催。登録は20名、参加者は6名だった。IEEE 本部から Ambassador の Certificate も頂いた。SYWL Congress では梅松氏に登壇頂いた。また、8月初旬に名古屋工業大学で開催されたモノづくり教室イベントに WIE から派遣し、中高生の女子に3Dプリンターの使い方を教えるなどをサポート。WIE でも将来やりたいイベントの1つ。10月に予定していた年次シンポジウムの海外からの講演者が来日できなくなり、12月に変更で準備中。役員選挙については、LMAG に倣い、準備していく。全国6つの WIE Chair をメーリングリストでつなげ、他の WIE の様子もわかるようになっている。

7. その他

・ 2025-2026 年 IEEE 東京支部理事・委員等の選定について

中村 NC Chair より以下の通り報告があった。

前回理事会の際、候補者のノミネートを行い、7月31日の東京 Bulletin で追加指名についても募集したが、追加はなかった。本日その結果を報告し、第4回東京支部理事会で正式に候補者が承認される、2025年1月1日に就任、2025年3月の総会で追認という流れになる。追加指名はなかった旨を、東京 Bulletin にて会員に周知する。その後、第4回理事会で理事会承認理事、及び、東京支部代表 Japan Council 理事、常設委員会メンバー、Vice Chair と Secretary の承認をもらう。理事会承認理事と東京支部代表 Japan Council 理事の選任については、幹事の役員の先生方で候補を出されると聞いている。2025年1月1

日に就任され、3月の総会で追認される流れ。

・ SIGHT 報告

西宮 SIGHT Chair より以下の通り報告があった。

6月22日に東京 LMAG と TPC 共催でさがみこべリーガーデンの見学会および講演会を開催した。出席者数は24名、会員20名、非会員4名。6月30日に IEEE WCCI2024 内の Workshop の一つとして IEEE Humanitarian Activities Workshop with AI Technologies を開催し、発表件数が5件だった。7月2日には IEEE Past President Saifur Rahman との会合。President 時代に気候変動などに興味を持っていた方だったため、HTC2025にも予定があれば出席したいとのことだった。9月9日には青森県むつ市立第二田名部小学校で出張授業を行った。昨年から東北大学 SB、東京支部からは電気大 SB も参加し、規模が大きくなってきている。予算だが、むつ市イベントについては第4回東京支部理事会までには計上する。R10 HTC2024 に SIGHT から3名参加するが、費用としてはこれが一番大きい。

・ IEW 報告

奥村 Secretary より以下の通り報告があった。

8月31日に IEW を SYWL と同会場で開催。2015年に東京からスタートした MAW は二巡目で、今回は産業界と IEEE の連携を強く意識し、名称を IEW に変更した。R10 SYWL との連携により、相互の交流、英語での交流、SYWL には60か所以上の Section からの参加があり、幅広い交流ができた。また、積極的な参加の奨励のために、SYWL からの参加者と学生は無料に設定。ポスターセッションには講演者の3社から参加があった。台風の影響で参加できない方々もあったが、登録は64名、最終的に54名の参加があった。当日 SYWL からの参加者は8名。質問も活発に行われた。開催風景写真は資料を参照。参加者が減ったこと、SYWL と共催でうまく連携できたこともあり、予算よりも少ない支出となっている。

質疑応答では、理事会での議論内容（開催の順番やイベントの内容など）を IPC で共有してほしいとのコメントがあり、奥村 Secretary から次回 IPC で共有するとの回答があった。

・ HTC2025 報告

HTC2025 の進捗につき、滝嶋 HTC2025 招致担当より以下の通り報告があった。

HTC2025 の第2回運営委員会を6月26日、第3回運営委員会を9月3日に開催した。また Web ページも立ち上げた。支出入の予算立ては担当が収入を増やすべく助成金を3件申請。SYWL2024 ではポスターセッションにブースを設置し、4日目の午前に運営委員の寺野氏の講演の枠で千葉商科大学としての活動と、HTC2025 の紹介をし、広報した。今後、10月1日から3日にマレーシアで開催される HTC2024 に委員（寺野氏と滝嶋招致担当）が参加し、運営状況の視察と関係者との情報交換を実施し、後日報告する。10月下旬には CFP を発行する予定。また年内に第4回の運営委員会を開催予定。

・ VICS2025 報告

奥村 Secretary より以下の通り報告があった。

現在2つの Committee を動かそうとしている。1つは Sponsorship Committee で既に承認されており、原崎さんが IPC 企業等に Sponsor を依頼中。もう1つは Local Operation Committee で、VICS の日本での運営をする委員会を作るべく、メールで審議中。また、IEEE VICS Meet-Up Reception を10月4日に明治大学に Sponsor 候補企業を招待して開催予定。そして、現在 Invitation mail を作成中である。Sponsorship については、複数に依頼を予定している。